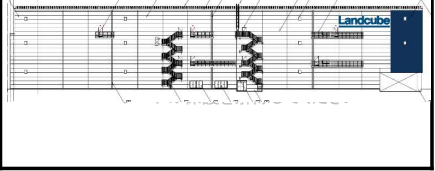


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Landcube寒川新築工事	階数	地上3F
建設地	高座郡寒川町一之宮五丁目3018番1外24筆	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2022年7月25日
敷地面積	8,245 m <sup>2</sup>	作成者	(株)フジター級建築士事務所
建築面積	5,634 m <sup>2</sup>	確認日	2022年7月26日
延床面積	15,444 m <sup>2</sup>	確認者	(株)フジター級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
JR寒川駅から徒歩21分の準工業地域に大学本部を事務所と工場の複合用途のRC造・3Fの建物を計画した。	・特に無し
<b>Q1 室内環境</b> ・対象外	<b>Q2 サービス性能</b> ・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用 ・空間、荷重のゆとり配慮 ・電気、通信配線の更新性に配慮
<b>LR1 エネルギー</b> ・BPI=0.45 ・BEI=0.29	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・自動水栓に加え、節水型便器を採用 ・LGS下地、OAフロアを採用 ・PRTR法に該当しない建材種別が3つ以上有る
	<b>LR3 敷地外環境</b> ・LCCO <sub>2</sub> 排出率=68% ・ガス設備設置無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される